

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	府中市小柳町 2-11-TENS BUILDING3F
園名	ソラスト府中保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

食育

<テーマの設定理由>

近隣地域の方に畑をお借りして毎年さつまいも（5歳）や野菜の栽培を行っている。野菜やさつまいもを栽培、育成、収穫、食べるまでを経験し、食への興味、関心を高めていく。また毎月栄養士による食育活動を行い、様々な野菜に触れ興味関心を持てるように取り組んでいる。子供たちは食育活動に楽しんで参加し、食べ物に興味を持ち、食べることが楽しいと思えるような経験につなげている。

2. 活動スケジュール

4歳「野菜の苗植え」5月16日（金）～5月30日（土）

場所：4歳児は分園の小さな畑で野菜栽培を行う。

- ・5月16日になす、ピーマンの苗を植えた。
- ・グループごと1苗ずつ植えていった。
- ・その後は、散歩の途中で観察した。
- ・室内では図鑑を見て実物との違いなど話し合った。
- ・登降園時は保護者の方と一緒に観察していると保護者の方も教えてくださった。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・なす、ピーマンの苗 ・土 ・軍手 ・スコップ
- ・野菜の図鑑 ・水やり用ジョーロ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ 苗植え
- ・ 水やり（登板活動・保育者）
- ・ 図鑑で観察し話し合った。
- ・ 観察 散歩途中

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

・ 苗植えの際「おおきくなるといいね」と話しながら植えていた。登降園時にも保護者の方と一緒に観察し、保育者や友だちに「大きくなった」と教えてくれた。
クラスにある図鑑を見ながら友だちと話し合う姿が楽しそうだった。



5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

野菜だけに興味を示すのかと思ったが、苗から育てたことで、葉が増えることや少しずつ高く成長することなどに興味を示していた。どのくらい育っているのか毎日わくわくしながら過ごしていた。給食の時もピーマンが出ると「ピーマンだ」と野菜に興味を持つようになった。

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	府中市小柳町 2-11-TENS BUILDING3F
園名	ソラスト府中保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

食育

<テーマの設定理由>

近隣地域の方に畑をお借りして毎年さつまいも（5歳）や野菜の栽培を行っている。野菜やさつまいもを栽培、育成、収穫、食べるまでを経験し、食への興味、関心を高めていく。また毎月栄養士による食育活動を行い、様々な野菜に触れ興味関心を持てるように取り組んでいる。子供たちは食育活動に楽しんで参加し、食べ物に興味を持ち、食べることが楽しいと思えるような経験につなげている。

2. 活動スケジュール

6月24日（火）4歳

- ・なす、ピーマンの収穫
- ・一人1つ、はさみで切って収穫した。
- ・その後は観察して絵を描いた。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・なす、ピーマンの苗 ・土 ・軍手 ・スコップ
- ・野菜の図鑑 ・水やり用ジョーロ ・収穫の時のはさみ

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ピーマン、なすの収穫
- ・一人1つはさみで切って収穫し、2～3こ持ち帰った。
- ・収穫後は水やりを行い、次の収穫に期待して楽しみにしている。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・ピーマンの葉に虫がついているのを子供たちが見つけ、「虫がついているくらいおいしいのかな」と話していた。
- ・一人ずつはさみで切って収穫した。たくさん収穫できたので一人2つくらい持ち帰ることができた。保護者に渡すときは嬉しそうだった。



5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

苗から育てたことで葉が増えていくことや段々高く成長することなどを学び、ピーマンの色やなすの色にも「きれいだね」と感動していた。苗から育てたことで様々な学びにつながっていることに気づくことができた。また収穫する経験ができたことで、自分たちで育てたことの達成感を味わうことができたように感じた。

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	府中市小柳町 2-11-TENS BUILDING3F
園名	ソラスト府中保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

食育

<テーマの設定理由>

近隣地域の方に畑をお借りして毎年野菜の栽培を行っている。野菜やさつまいもを栽培、育成、収穫、食べるまでを経験し、食への興味、関心を高めていく。また毎月栄養士による食育活動を行い、様々な野菜に触れ興味関心を持てるように取り組んでいる。子供たちは食育活動に楽しんで参加し、食べ物に興味を持ち、食べるのが楽しいと思えるような経験につなげている。

2. 活動スケジュール

6月24日（火）4歳

- ・ピーマンを収穫して、午後種取り
- ・一人1つ、はさみで切って収穫した。
- ・ソラストエプロンを着てグループごとにピーマンの種取りを行った。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ピーマン
- ・種を入れるボール
- ・ソラスト子供エプロン
- ・三角巾

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ピーマンの種取り
- ・先生と同じソラストこどもエプロンを着用しグループごと種取りを行った。
- ・種取りをしたものは集めて給食室に運んだ。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

子どもたちは栄養士の先生の話聞きながら、種を取る方法を聞いていた。作業をしながら「ピーマンの色がきれいだね」「かたいね」「たねってちいさい」「種がたくさんあってとるのがむずかしい」など、ピーマンを触りながら、それぞれ感想を言い合いながら作業していた。どの子も笑顔で楽しそうだった。



5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

苗から育てたことで葉に虫がついていたことも知っているのも、そのころの話も出てきたり、色、かたさ、小さかったピーマンが大きくなるまでの成長も知ることができてピーマンを身近に感じているような様子だった。苗から育てたことで様々な学びにつながっていることに気づくことができた。また収穫する経験ができたことで、自分たちで育てたことの達成感を味わうことができたように感じた。